

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター つくも幼児教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	20	(回答数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援の制度ができる前から、地域の園を訪問する機会を独自に行っているため、保育所等と長い関係を築けている。	訪問支援事業所の一方的な助言にならないように、保育園等の実情を把握し、実態に合った支援方法を考えるようにしている。	事業所内で地域の園の実情を把握するとともに、管轄する行政等とも情報交換を継続して行っていく。
2	通所と訪問事業と相談事業所行っているため、3者の情報を共有することができる。	保育所等の状況、事業所の状況、家庭の状況をそれぞれから聞き取って、支援に反映するようにしている。	他の児童発達支援事業所や相談支援事業所とも情報共有をし、子どもの状態を正確に把握できるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な訪問回数が今のところ年5回~6回のため、少ない場合もある。	児童発達支援と同時運営のため、訪問回数をなかなか増やすことができない	年度初めなど、必要に応じて訪問回数を増やしたり、保護者の希望があった時は訪問頻度を増やすようにしている。今後も少しずつでも訪問頻度を増やしていきたい。
2	訪問内容は常に職員間で共有しているが、国や県の保育所等訪問支援に関する研修がないので、参加することができない。	園独自に訪問支援に関する支援技術を向上させるための研修は行っている。	保育所等訪問支援に関しての系統だった国や県主催の研修を実施してもらえるように訴えかけを行っていく。
3			